

2014年3月期 第1四半期決算について

2013年8月12日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165)

第1四半期 決算ハイライト

国内での先行き不透明感や、中国での経済成長の減速感はあるものの、日中ともに売上、営業利益とも想定通り推移し、連結ベースで前年同期も上回ることができた。

売上

連結

自動車関連の拡販、医療関連・食品関連等新規分野の伸長に加え、インドの立ち上りや、好調な欧州向け輸出もあり、前年前期比103%を確保。

単体

積極的に推進している自動車関連での拡販や新規分野の伸長もあり、緩やかな持ち直しは見られるものの、半導体・電子部品等で好調であった前年同期を上回ることにはできなかった。

中国

春節明け以降の回復もあり、また内陸部への販売体制強化により、前年同期をクリアすることができた。

利益

売上増に加え兵庫工場の稼働向上等による原価率良化もあり、営業利益は前年同期比105%となった。なお、円安・元高による為替差損の影響もあり、経常利益及び当期利益は前年には届かなかった。

資金

配当金支払い等により、期首からは約1億円の減少となった。



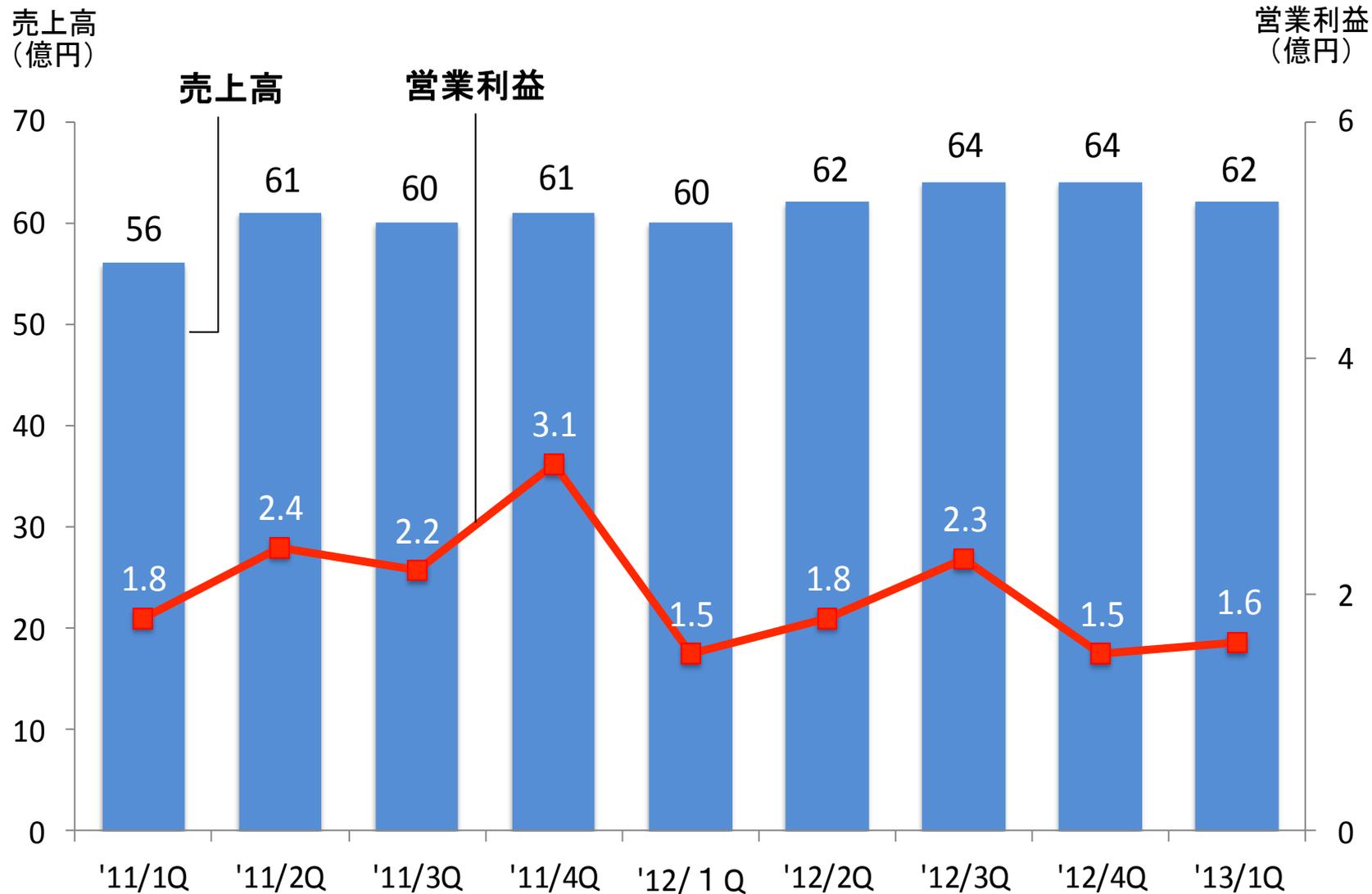
決算概況

(単位:百万円)

	2013年3月期 第1四半期		2014年3月期 第1四半期		前年同期差	前年同期比
売上高	6,018		6,199		181	103%
営業利益	2.5%	151	2.6%	159	8	105%
経常利益	3.2%	193	1.8%	110	▲ 83	57%
当期純利益	2.0%	120	1.2%	73	▲ 47	61%

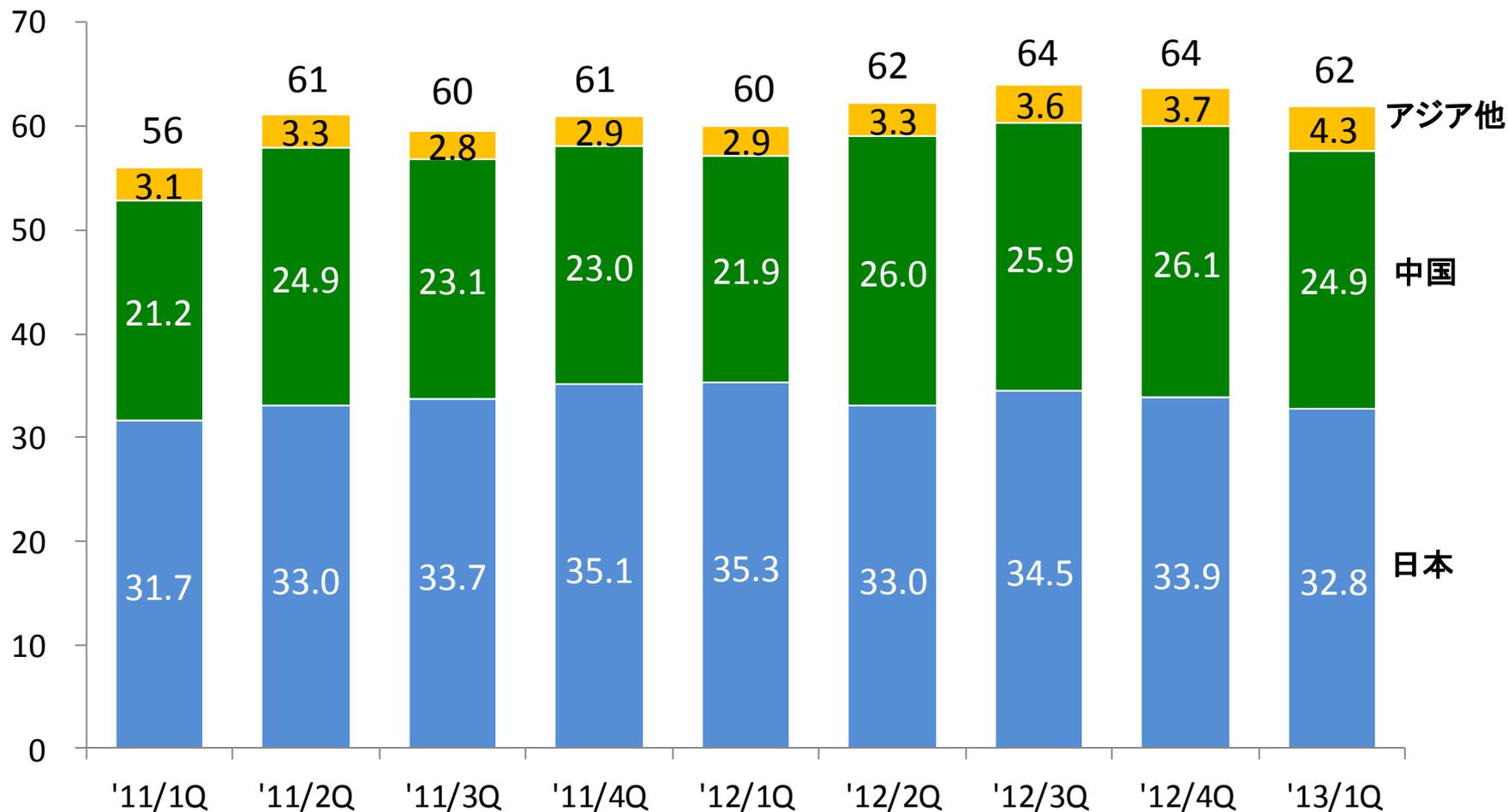


売上高と営業利益の推移



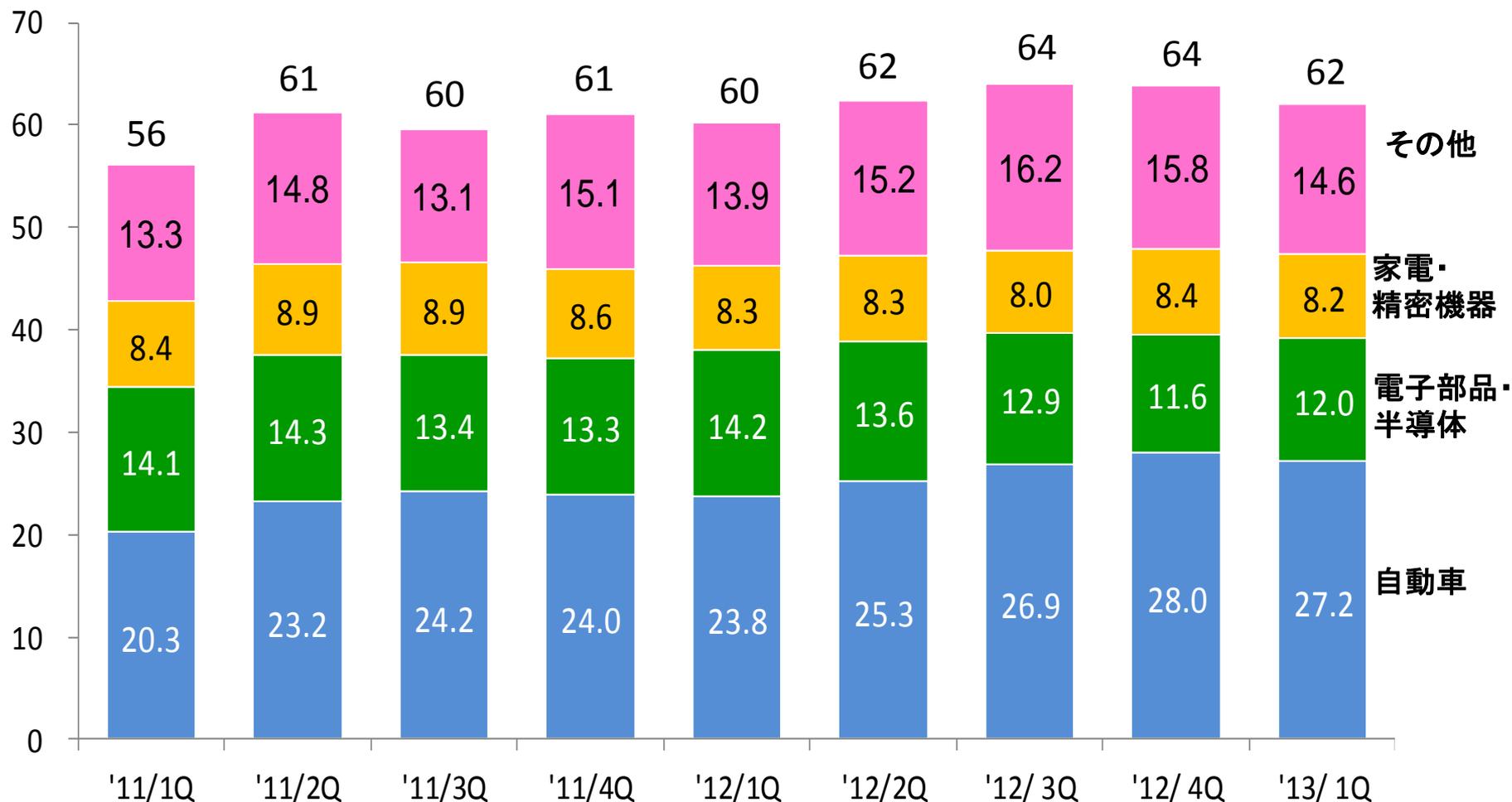
地域別売上高

売上高
(億円)



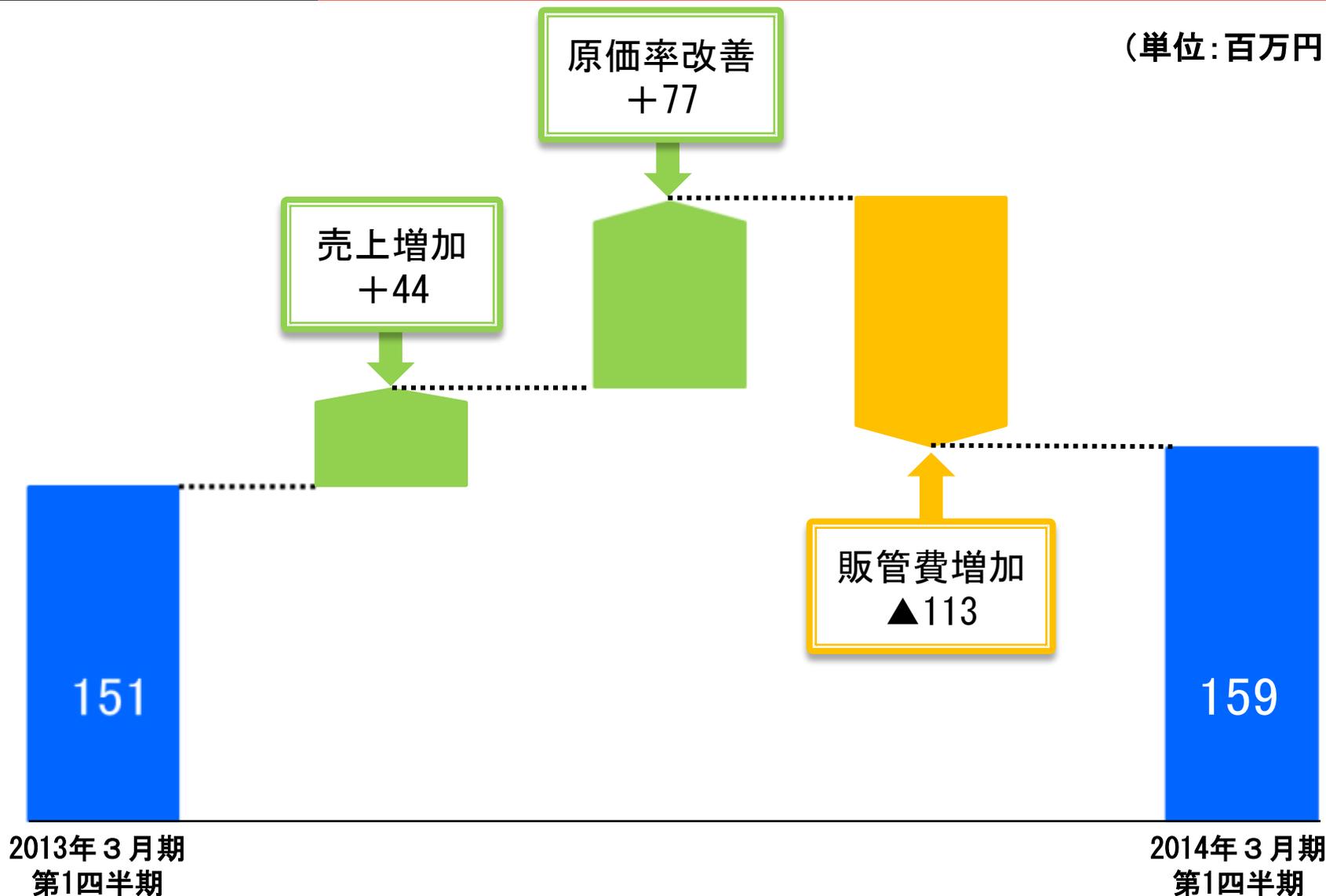
業種別売上高

売上高
(億円)



2014年3月期第1四半期 営業利益増減

(単位:百万円)



2013年3月期
第1四半期

2014年3月期
第1四半期



財務状況

(単位:百万円)

	2013年3月期末	2014年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	20,573	20,687	113
総負債	14,847	14,571	▲ 276
うち有利子負債	8,953	8,702	▲ 251
純資産	5,726	6,116	390
ネット資金	▲ 7,212	▲ 7,334	▲ 122
自己資本比率	27.8%	29.6%	1.8ポイント

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	前年同期差
ROE	2.7%	1.2%	▲1.5ポイント
設備投資額 (無形固定資産含む)	293	112	▲ 181
減価償却費 (無形固定資産含む)	252	255	3



パンサー社の完全子会社化

【会社概要】

社名：Panther Precision Tools Sdn. Bhd.（パンサー社）

所在地：マレーシア・ペナン

事業内容：金型用部品製造販売

（マレーシア、シンガポール、ベトナム及び欧州等に販路）

資本金：6,000,000マレーシアリングgit

設立年月：2000年7月

2012年12月期連結業績：売上高7.2億円、営業利益2.2億円、当期純利益2.0億円

欧州



ドイツ



【取得概要】

- (1) 取得株式数
5,160,000株
- (2) 取得後の所有株式数
6,000,000株（所有割合：100%）
- (3) 取得価額
約14.5億円
- (4) 株式譲渡実行日
2013年8月30日（予定）



2014年3月期 業績予想

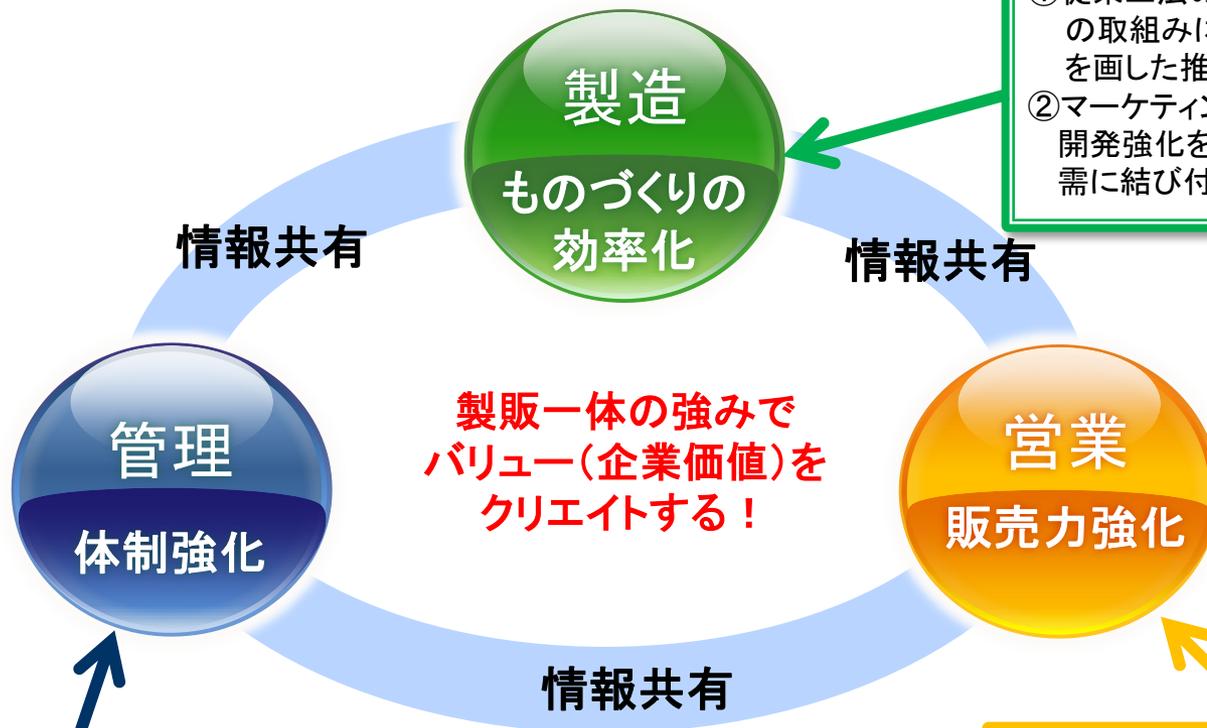
(単位:百万円)

	2013年3月期 (実績)		2014年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高		25,041		26,542	1,501	106%
営業利益	2.8%	707	3.5%	917	210	130%
経常利益	3.3%	822	2.8%	748	▲ 74	91%
当期純利益	0.9%	213	2.0%	536	323	251%



重点施策の進捗状況①国内事業

単体収益構造改革「バリュークリエーション計画」の推進



- ①従来工法の見直し、新しい工法開発への取組みに着手。日々の生産と「一線」を画した推進で実効に繋げていく。
- ②マーケティング機能と連携した新規分野開発強化を当面「的」を絞って推進し、実需に結び付いてきた。

- ①ものづくり改革を支援できる原価管理推進のため、専任部隊も組織。
- ②中期経営計画とも同期させ、グローバル企業として目指すべき人材戦略の青写真の検討に着手。

- ①30年超の事業の継続のなかで、醸成されてきた「暗黙知」や、断片的有効情報等の一元化 & 可視化作業に着手し、ソリューション型営業体制の強化を進める。
- ②物流費等、販売費の全面的見直しを現場主導で推進。

重点施策の進捗状況②海外事業

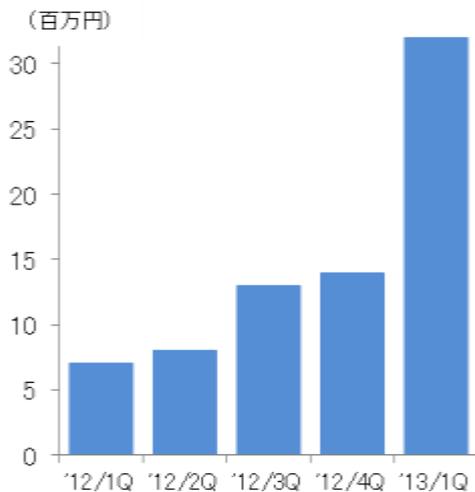


中国パンチグループ

- ①販売体制強化と5月に操業を開始した重慶工場により、中西部での本格的な事業拡大に向けスタートした。
- ②欧米向輸出も好調。

インドパンチ

物流安定化、在庫品拡充、体制見直し等々により、事業基盤が見え始め、着実に売上実績を伸ばしている。



東南アジア市場

パンサー社の全株式を譲り受け、100%子会社化により、東南アジア戦略を加速させる。



パンチ工業株式会社

参考資料

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	6億7,420万円（2013年3月末現在）
従業員数	3,553名（グループ連結、2013年3月末現在）
生産拠点	北上工場（岩手県北上市） 宮古工場（岩手県宮古市） 兵庫工場（兵庫県加西市）
グループ会社	株式会社ピンテック（山形市） 盤起工業（大連）有限公司（中国） 盤起工業（瓦房店）有限公司（中国） 盤起工業（無錫）有限公司（中国） 盤起工業（東莞）有限公司（中国） 盤起弹簧（大連）有限公司（中国） PUNCH INDUSTRY INDIA PRIVATE LIMITED（インド）



沿革

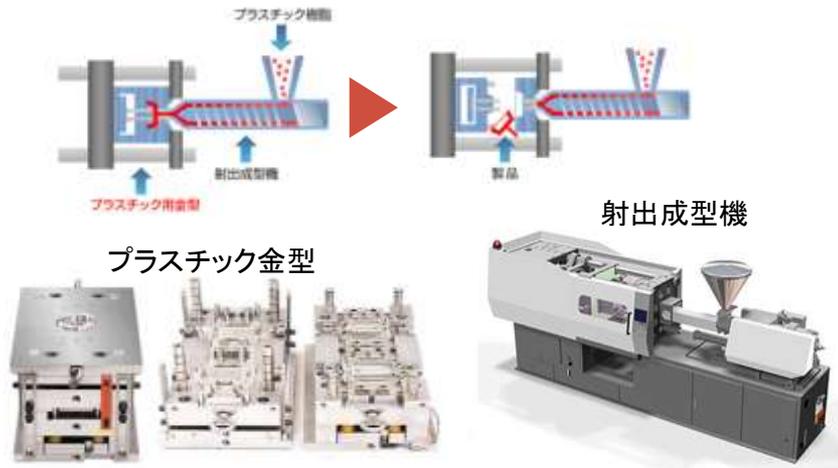
1975年	創業、プリント基板用穴あけピン製造
1982年	プラスチック金型用部品に進出(ハイスエジェクタピンの量産化に成功)
1983年	北上工場設置 金型用部品の全国販売を開始
1989年	プレス金型用部品に進出 宮古パンチ工業(現 宮古工場)設立
1990年	中国大連に製造拠点設立
2001年	中国に販売拠点設置
2002年	中国国内での金型用部品販売を開始
2010年	インドに販売拠点設立
2011年	兵庫工場設置 インド国内での金型用部品販売を開始
2012年	パンサー社(マレーシア)と資本業務提携 東京証券取引所市場第二部上場
2013年	中国重慶に生産物流拠点設置



金型部品業界でのトップブランドを確立し
製販一体企業としての優位性を活かした
高収益企業を目指す



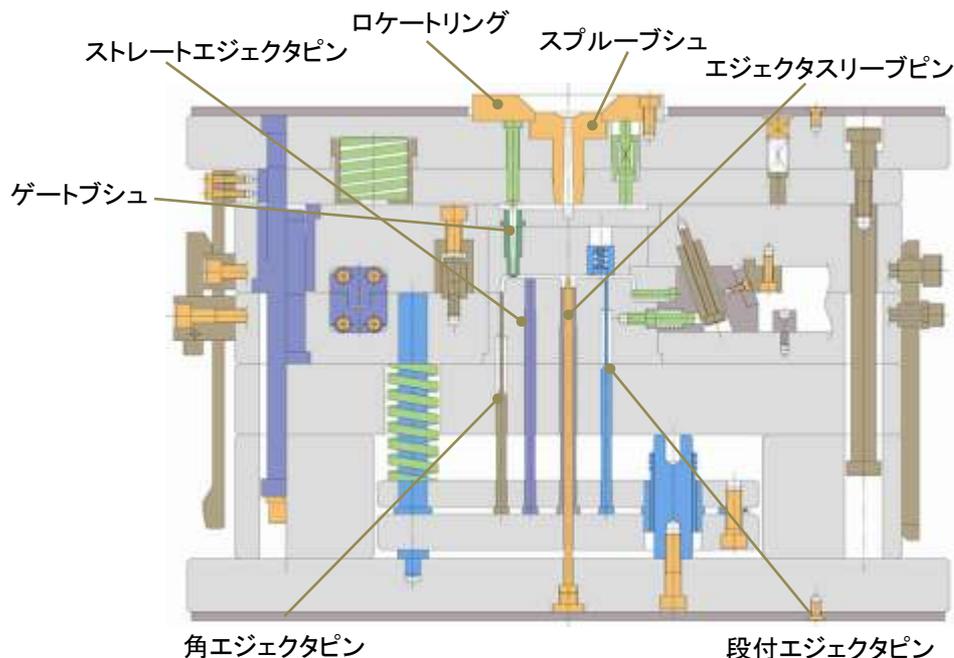
プラスチック金型と金型用部品



スプルーブシュ・ロケートリング



エジェクタピン



●プラスチック金型用部品について

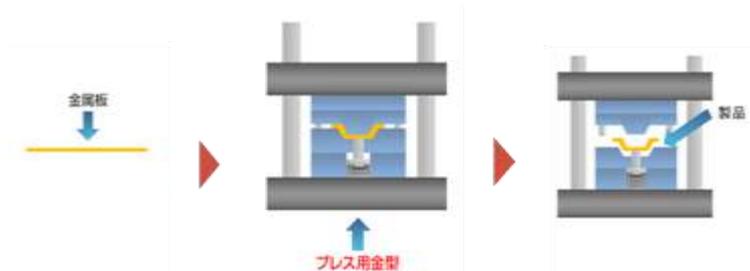
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ、ゲートブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

- エジェクタピン……成型品を金型から離し、突き出すための部品
- スプルーブシュ……射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品
- ゲートブシュ……スプルーブシュから金型内の製品部にプラスチックを流す部分であり、成型後、金型を開く時にこの部分から製品部を切り離すための部品



プレス金型と金型用部品



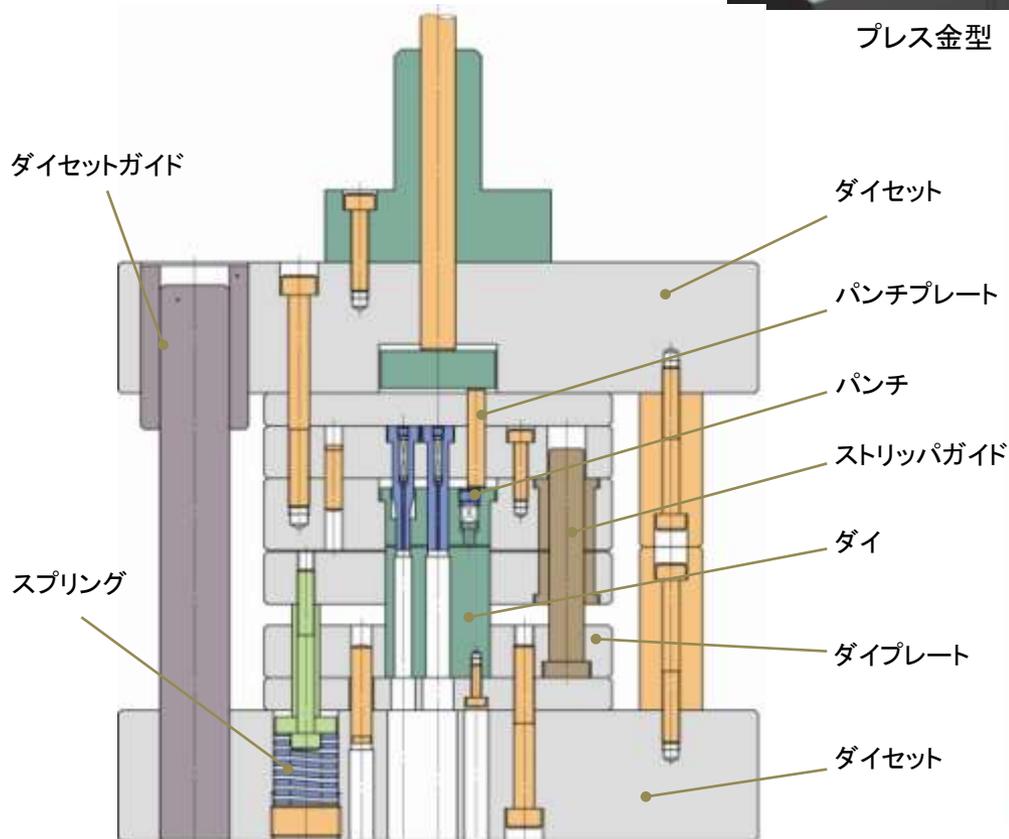
プレス金型



パンチ



ストリップガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料（金属の鋼板）を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ……………パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使用され、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド………上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品
- ストリップガイド………パンチ・ダイの関係をダイセットのガイドを用いて位置合わせをして、適正なクリアランスを保つために使用する部品



事業内容

工程設計、材料調達から出荷まで一貫した生産体制が強み

特注品製造工程

工程設計

材料

切削加工

熱処理

研削加工

放電加工

表面処理

完成検査
(全量)

出荷
7~14日

お客様

一貫通貫の生産体制

お客様

材料

熱処理

切断加工

鍛造加工

ブランク材
(在庫)

研削加工

表面処理

完成検査
(全量)

出荷
通常3日

標準品製造工程

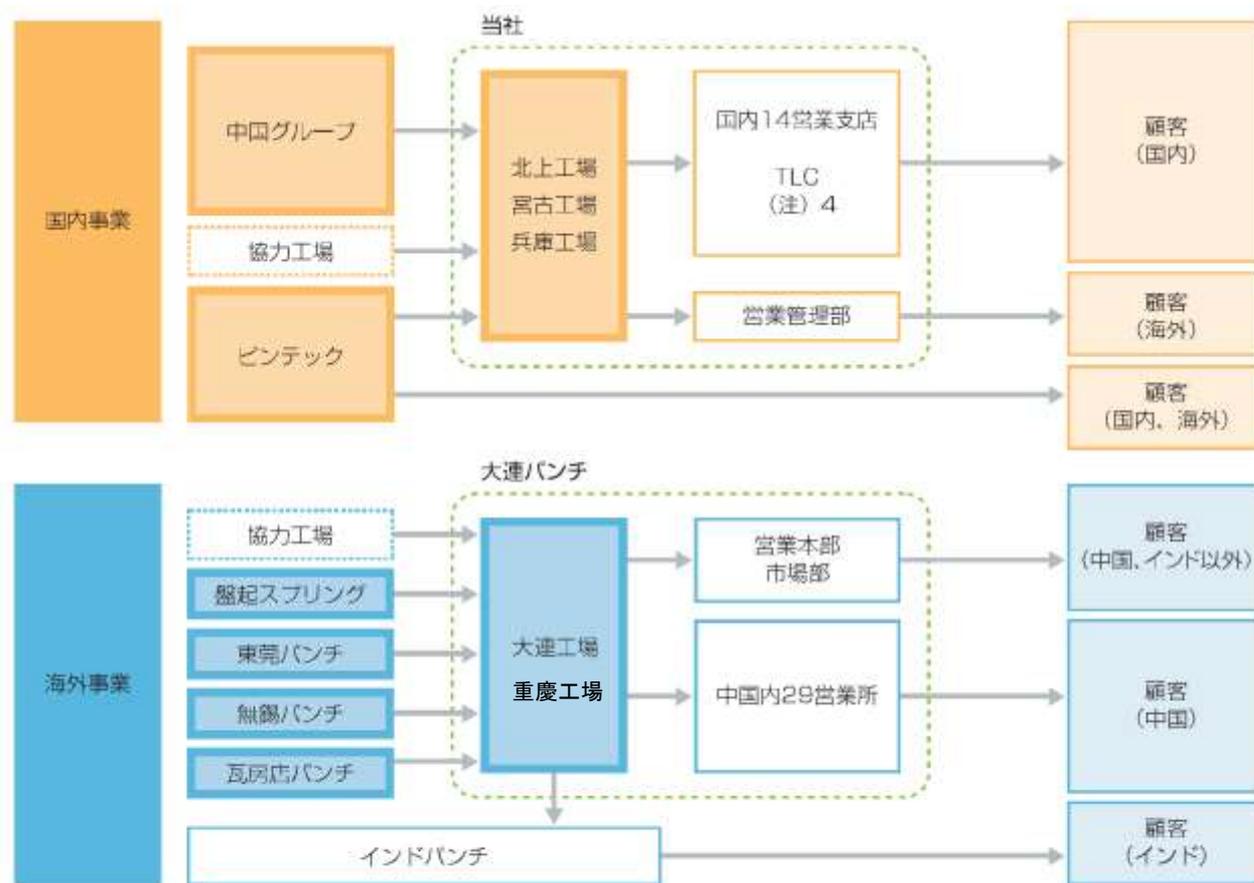


当社及びグループ各社の機能と役割

	会社名	略称	機能と役割
国内事業	パンチ工業株式会社（当社）	—	グループ統括機能。 国内3工場、ピンテック、中国グループ各社で製造した製品と、協力工場にて製造した製品等を、主として国内市場にて販売。
	株式会社ピンテック	ピンテック	主として当社向けの製品を製造、販売する一方、ピンテック独自のプリント基板金型用精密部品を製造し、グループ外に販売。
海外事業	盤起工業（大連）有限公司	大連パンチ	中国グループ統括機能。 傘下4社からの仕入れも含め、製造した製品、半製品、および協力工場にて製造した製品等を、主として中国国内市場および当社に販売。
	盤起工業（瓦房店）有限公司	瓦房店パンチ	主として大連パンチおよび当社向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業（無錫）有限公司	無錫パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業（東莞）有限公司	東莞パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起弹簧（大連）有限公司	盤起スプリング	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	PUNCH INDUSTRY INDIA PRIVATE LIMITED	インドパンチ	主として大連パンチ製品等を輸入販売。

- (注) 1. 国内事業とは、当社およびピンテックの事業を、海外事業とは、大連パンチ以下6社の事業を意味しております。
2. 中国グループとは、上記、大連パンチおよび傘下4社（瓦房店パンチ、無錫パンチ、東莞パンチ、盤起スプリング）の総称であります。

事業系統図



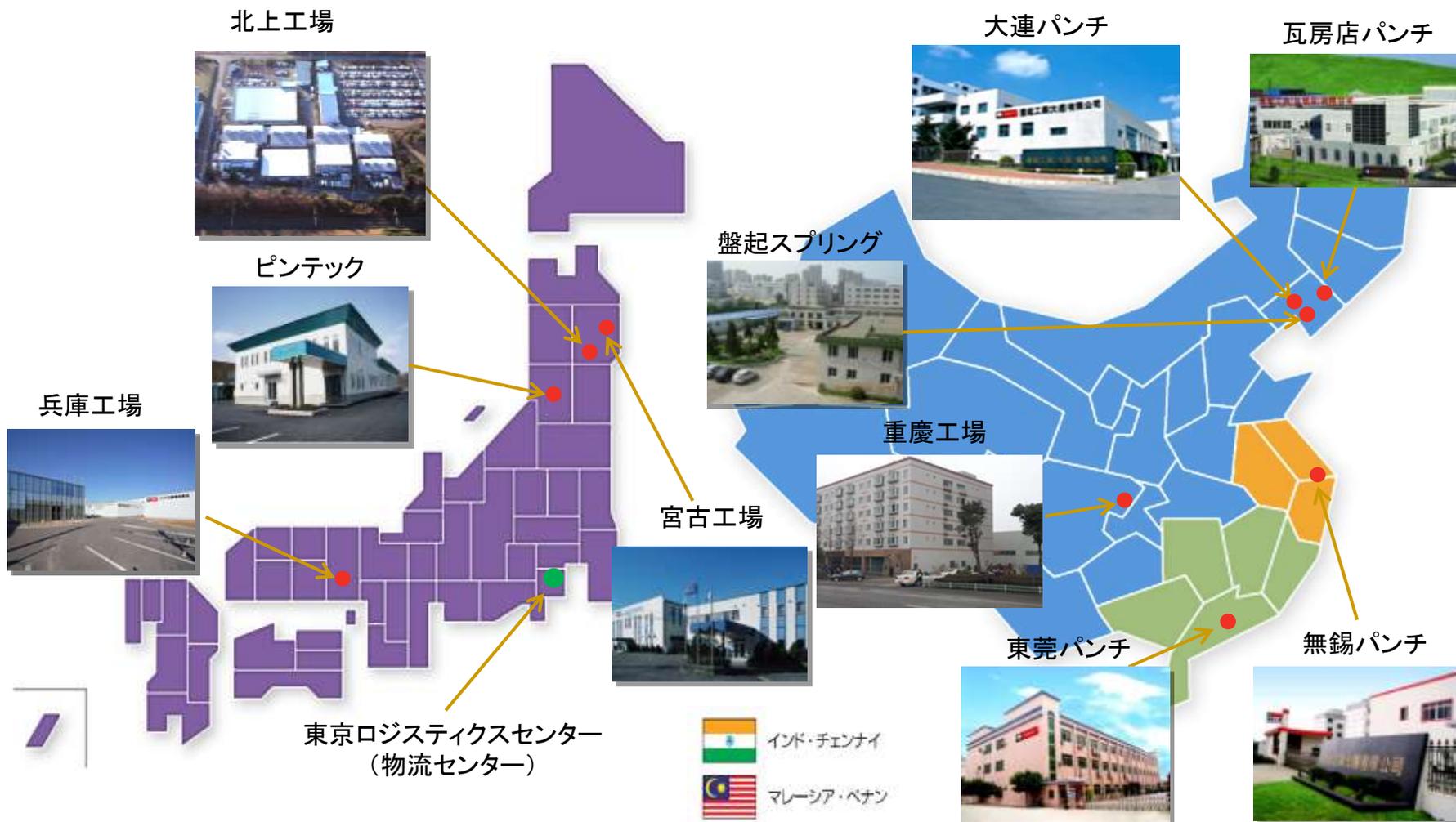
- (注) 1. は当社グループの社内生産部門を示しております。
 2. は当社グループの社外生産部門を示しております。
 3. は製品等の流れを示しております。
 4. TLCは当社国内物流センターである東京ロジスティクスセンターの略称であります。

事業体制

● 製造拠点

国内製造拠点・物流拠点

海外製造拠点



株主・投資家情報サイトのご案内

ニュースより最新のPR・IR情報が
ご覧いただけます。

各メニューより詳細がご覧いただけます。

- ①株主・投資家の皆様へ
- ②財務ハイライト
- ③IRライブラリ
- ④株式情報
- ⑤IRカレンダー
- ⑥株価情報（外部リンク）

<http://www.punch.co.jp/companyinfo/ir/>

IR活動について

① 個人投資家様向け説明会を年2回以上開催いたします。

＜直近の予定＞

- 日時：2013年8月25日(日)
- 場所：大和コンファレンスホール(東京都千代田区丸の内)
- 説明者：代表取締役社長 武田雅亮(たけだ まさあき)

② アナリスト・機関投資家向け決算説明会を本決算・第2四半期決算の年2回開催いたします。

③ 各種IRイベントに参加いたします。

＜直近の予定＞

日経IRフェア2013 STOCKWORLD

- 日時：2013年8月30日(金)～31日(土)9:30～17:30
- 場所：東京ビッグサイト 東1ホール
- 会社説明会：8月30日(金)14:10～14:35 A会場
(説明者：代表取締役社長 武田雅亮)

本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課
電話: 03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。